

# 網張ビジターセンター ニュースレター



Amihari  
visitor center

Vol.82  
2019.1

## 見上げてごらん、冬の森を…

腹筋中ではありません…

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori \* 網張の森の生き物たち \* amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

### クルッと丸まっている「オシャグジテンダ」

例年に比べるとずっと雪が少なく、いつもなら雪の下に隠れているはずのチシマザサやヒメアオキなどが「まだ潜れないでおります…」と寒さにじっと耐えているようにも見える森の中でオシャグジテンダに出会いました。そのシダは、シナノキの大木に太いしめ縄のように巻き付いたツルアジサイとの隙間からちょこんと生えていました。見上げると首が痛い程の高さにあり、控えめな色合いながらもモノトーンの景色の中では自然と目に入ってきました。地味な存在のシダ植物ですが、3億年ほど前には20~30m程の高さで森の主役だったことも。様々に姿を変えて今日まで生き延びている…、その適応力には驚くばかりです。雪が積もっている分、いつもは目の届かないところまで見ることができるのはこの時期ならではの。見通しのよい森では足元ばかりではなく、見上げてみると思いがけない出会いが待っていて、森の懐の深さをこっそり教えてくれるかもしれませんよ。

“What is Oshagujidenda?”

「乾燥で丸まるシダ」

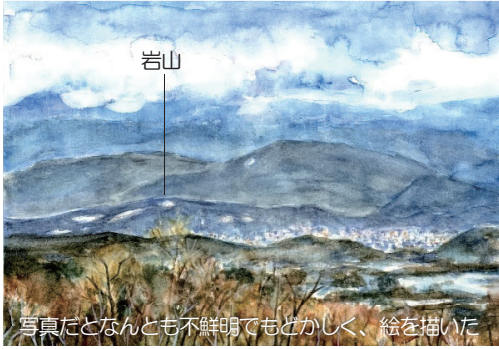
ウラボシ科

葉身：10~20cm程

分布：北海道~九州

石の上や木の幹に生える。秋に葉を出し夏に落葉する冬緑性で多年草のシダ。乾燥すると丸まるのが特徴。名前の由来は長野県の御社貢寺（おしゃぐじ）で発見されたところから。胞子で殖える。胞子は葉の裏にある斑点のようなソーラス（胞子のう）の中で作られる。

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



# 網張から見える 山ノート

15ページ目 岩山

いわやま  
岩山

標高：340.5m

位置（網張VCから）：南東

登山適期：通年

特色：山頂まで舗装路が整備されている他、2つの登山道と探鳥路がある。石川啄木にちなんだ“啄木望郷の丘”には歌碑と像が立つ。

10年以上前、岩山の裾野と言ってもいい盛岡市の東中野町に住んでいました。傾斜を利用した畑が見える窓の側には柿の木も立っていて、そこにオナガの群れが突如飛来しびっくりした事も。市民にとって身近な山ですが、宮沢賢治にとっても岩山は特別な場所の一つでした。仏教には教えの永遠不滅を願い、経文をそれにふさわしい場所に埋める習わしがあるそうです。賢治は晩年、「経理ムベキ山」として三十山、二峠を黒革の手帳にしたためました。選ばれたイーハトーブの山々を線で結びと、『銀河鉄道の夜』とも関連深い幾つかの星座が浮かび上がるそうです。岩山は白鳥座のくちばしの部分、尾は岩手山、両翼は姫神山と秋田駒ヶ岳…。たまには岩山展望台に登ってイメージをはばたかせてみては？



### 岩山展望台ができた背景



1962年に鹿島建設によって、初代社長の鹿島精一（1875～1947）の功績を伝えるために作られました。盛岡市出身の初代社長は誠実・公平で慈愛に満ちた人物。業界の近代化も推進し、その功績から「鉄道の鹿島」とたたえられたとか。昨年夏に施設の改修が完了し、360度の展望は今後も多くの方に親しまれる事でしょう。



### ちょっと寄り道

市内を取材した際、久しぶりに中津川沿いを歩き、落ち着いた雰囲気を楽しみました。カルガモやヒドリガモもリラックスした様子で、犬を散歩する人にもそ知らぬ顔。しばらく見ているとチュウサギがふわりと舞い降りて着水。街中にある事を一瞬忘れさせる出来事でした。

# Amihari Birds

アミハリ・バーズ Vol. 25

## ウソ

科名：アトリ科  
全長：約15.5cm  
生態：漂鳥  
分布：北海道、本州



### 鳴き声

フィッフィッ、  
フィロフィロ、  
フィーフィ…

桜の花芽も食べるので、満開を期待する方から煙たがられる事もある野鳥です。ウソは「私じゃない。アカウソという渡りをする亜種がやったことです。」と無実を主張。本当かな！？ウソの鳴き声は口笛のように聞こえる所から、語源は口笛を吹くという意味の「うそぶく」からきています。雄は頬と喉元が晴れやかなので「てりうそ」、落ち着いた色の雌は「あまうそ」と呼ばれ、鳴いた方の天気になるという言い伝えも。以前、烏帽子岳（乳頭山）に登った時、登山道を先導するように前を行くウソに出会った事があります。繁殖は標高の高い山間部で行い、冬期はささやかな群れを作り低山帯でズミなどの果実や冬芽を食べます。今年も桜の名所でその動向が取りざたされるかもしれません。春を待つ同じ生きものとして温かい目で見守ってほしいものです。



今回は、新春にちなんで樹木に関するクイズを考えてみました。わかっているようで意外に知られていない樹木の様々な性質。皆さんも挑戦してみてください。解答は次のページに。(亀山喜作さん作成)

第一問 アカマツの針葉は盛岡近辺で5月下旬に開葉しますが、その葉はいつ頃まで枝についているでしょうか？

- ①翌年の6月頃まで(12ヶ月間) ②翌年の11月頃まで(18ヶ月間)

第二問 次のうち、どちらがミズナラで、どちらがコナラでしょうか？



- a.冬芽が大きい  
b.どんぐりが大きくすんぐり  
c.樹皮の割れ幅が広い  
d.生材の水分が多い  
e.葉身は、葉柄基部より出る  
f.鋸歯が荒い



- a.冬芽が小さい  
b.どんぐりが小さく細長い  
c.樹皮の割れ幅が狭い  
d.生材の水分は普通  
e.葉身は、葉柄基部より離れて出る  
f.鋸歯が荒くない

第三問 ブナの新梢の伸び方は？ ①5月頃に10日間ぐらいで一気に伸びる。  
②5月から7月までゆっくり伸びる。

第四問 新しく発生したブナやミズナラの冬芽はいつ頃肉眼で認められますか？一つ選んで下さい。  
①5月 ②7月 ③9月

第五問 スギとかブナの樹木の種子が発芽して最初の動きはどっち？  
①葉をつけるため地上に向かう ②地下に向かい根となる

第六問 トチの芽出しの正しい位置は何番か。一つ選んで下さい。



第七問 ミズキの幹に傷をつけると樹液が大量に流出するが、その時期とは？ ①2月~4月 ②5月~7月

第八問 イチョウは雌雄異株ですが、雌雄異株の木は他にどんなものがありますか？ツル植物でもよいので3種類以上あげて下さい。

第九問 ササとタケの区別の説明で正しいものは次のどれですか？ ①葉が狭く、背が高いのはタケで、広く低いのはササ。 ②皮が2~10ヶ月で落ちてしまうのはタケ、数年間ついているのがササ。

第十問 植物や動物には学名と和名と俗名がありますが、ブナ、トチノキ、ミズキといった呼び名は次のうちどれでしょう？ ①学名 ②和名 ③俗名

## ■子どもたちの将来のため 環境問題解決に向けても取り組んでいます！■

### 「網張の森から環境を考える」VC 出前講座

12月12日に栗石町の「環境を考える会」でVCスタッフが講師となり、貴重な自然環境を守っていくことが、将来の子ども達の生活環境を守ることに繋がると訴えました。



### 「SDGsに挑戦」パークボランティア研修会

12月15日に岩手山地区のパークボランティア研修で岩手県立大学の渋谷教授から「経済」、「環境」、「社会」のバランスを取りながら持続可能な開発を目指す重要性を学びました。



■どんな活動をしていくか？みんなで考えました！■ 第二回東北ビジターセンター交流会開催

「素晴らしい自然の魅力をもっと知って欲しい」・・・という各地のビジターセンターで働いているスタッフの熱い思いが伝わってきました。

2018年11月、網張ビジターセンターに東北各地15ヶ所のビジターセンタースタッフと担当する環境省職員が集まり、EPO東北の進行でワークショップが開かれました。どこも予算や人員が十分でない中で、震災復興を元気づける三陸沿岸部での活動や世界自然遺産を地域の教育で活用する取り組み、豊富な手作り展示でビジターセンターの魅力アップさせる事例などが報告されました。

一番の収穫は、今までバラバラで横の連絡もなかったそれぞれのビジターセンターの素顔が見えてきて、一緒に連携していこうという機運が生まれたことです。



ビジターセンターの展示手法に関する検討会

最近のビジターセンターの活動



サンタさんからプレゼント 岩手山地区PV撮影

静寂な網張の森に“シングルベル”の大合唱が響き渡る！

恒例のスノーシューハイキング行事「冬の網張の森でクリスマス気分」が昨年12月23日に開催されました。冬でも常緑の木々は、神や精霊を宿すという西欧の古い言い伝えとクリスマスツリーの関係などを話しながら森の中を歩き、ヒメモチなどの「命をつなぐ緑」を観察。ブナやシナノキの巨木が待つ目的地に着くとパークボランティア扮するサンタが登場、一人一人にプレゼントを配ります。ハーモニカの伴奏で参加者42名がクリスマスソング大合唱。「とても楽しかった。子供たちが元気に楽しんでいる姿は気持ちを明るくさせてくれる」と参加した女性の感想。

参加者募集中！

滝沢会場

白銀の世界、スノーシューで動物の足跡を辿ろう！

ガイド付きスノーシュー体験 2月2日(土)、9日(土)、10日(日)



いわて雪まつり 52nd

場所：鞍掛山山麓「春子谷地展望台」  
 募集人数：20名（要予約）  
 料金：大人500円 子供（小学生以上）300円  
 9：30～12：30 たきざわ自然情報センター集合

現在開催中の企画展 ◆◆ 1月4日から2月28日まで ◆◆ - 鳥撮りとりおの写真展 -  
 網張ビジターセンター展示コーナー  
 「鳥撮りとりお in Amihari 3」

「鳥撮りとりお」のメンバーは  
 盛岡在住の上川 仁さん  
 佐藤 仁さん  
 渡辺 寛志さん  
 厳しい季節を生き延びる  
 懸命な野鳥たちの姿に感動  
 させられます。



3P「樹木クイズ」の答え 第一問 ② 第二問 ①ミズナラ ②コナラ 第三問 ① 第四問 ① 第五問 ② 第六問 ② 第七問 ① 第八問 ヤマブドウ、オオバクロモジ、キハダ、ヤドリギ、キツネヤナギなど 第九問 ② 第十問 ②

モモンガのつぶやき

冬の行事に合わせて手作りそりを複数作りました。材料はペレットの入っていたビニールなど身近なもの。白っぽさが気になったのか、リピーターの方が「絵をかいたら？子どもが喜ぶよ」と一言。素晴らしいアイデアと少しの技術で物の印象って変わるものですね。

(K.H)



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 11月 1,162人 ◆ 12月 704人  
 朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 11月1.1℃ ◆ 12月-5.5℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail [amihari@vanilla.ocn.ne.jp](mailto:amihari@vanilla.ocn.ne.jp)

開館 冬期(11月から3月末まで) 9時～17時 毎週火曜日休館